

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策I-2-3 農林水産業の担い手の育成・確保
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農業経営課長 栗原 一郎	電話番号	0852-22-5392
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	中核的農業者資質向上事業
目的	(1) 対象 農業経営改善に取り組む担い手農業者等 (2) 意図 新技術導入や経営分析に基づく経営力向上など、農業経営上の課題を自ら解決し経営改善に主体的に取り組むようにする。
事業概要	・普及指導計画で設定された戦略プロジェクト課題の普及指導活動（研修会の開催、先進事例調査、実証ほ設置等）を対象に支援し、普及指導計画目標の早期達成及び「新たな農林水産業・農山漁村活性化計画」で掲げる本県農業の目標を達成するとともに、担い手農業者の経営改善に資する。

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 担い手育成目標値	目標値		55.0	55.0	55.0	55.0	経営体
	式・定義 各年度の認定農業者の新規認定数	実績値	65.0					
		達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名	目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	3,000	1,500
うち一般財源 (千円)	3,000	1,500

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない。
---------------------	--------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・認定農業者の新規認定数は65名と目標を上回った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> 担い手農業者の経営改善について、各地域に配属された普及員が課題解決のための支援を行っている。 指導対象の目標達成に向け、この事業を活用し、展示実証ほの設置、先進地視察調査、研修・講習会の開催などの手法を用い、普及活動を展開している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」	・なし
②困っている状況が発生している「原因」	・なし
③原因を解消するための「課題」	・なし

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・引き続き、指導対象の多様化に対応し、指導対象の目標達成に向け、この事業を活用し、展示実証ほの設置、先進地視察調査、研修・講習会の開催などの手法を用い、普及活動を展開する。
--

9. 追加評価（任意記載）

--

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。